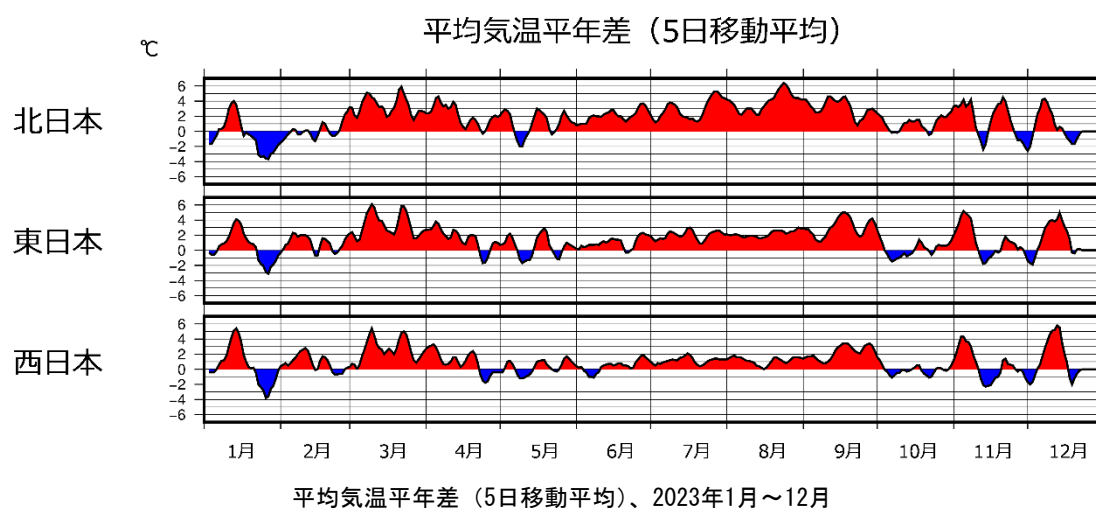


2023年（令和5年）の日本の天候（速報）

2023年（令和5年）の日本の天候の特徴：

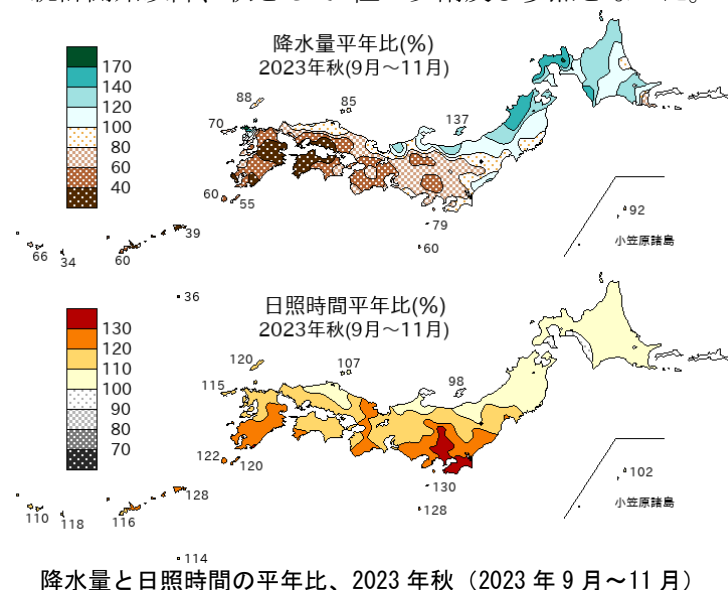
○年平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本で記録的な高温となった

春から秋にかけて気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本でかなり高かった。1946年の統計開始以降、北・東日本は春・夏・秋の3季節連続で季節平均気温が1位の高温となり、西日本では夏の平均気温が1位タイの高温となった。北・東・西日本では、年平均気温が1位の高温となる見込みである。



○秋は西日本太平洋側で記録的な少雨多照となった

東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では、秋雨前線や低気圧、台風の影響を受けにくく、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、秋の降水量はかなり少なく、秋の日照時間はかなり多かった。特に西日本太平洋側では、秋の降水量平年比が48%、秋の日照時間平年比が120%となり、1946年の統計開始以降、秋として1位の少雨及び多照となった。



1 概況

春から秋にかけて気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本でかなり高かった。1946年の統計開始以降、北・東日本は春・夏・秋の3季節連続で季節平均気温が1位の高温となり、西日本では夏の平均気温が1位タイの高温となった。北・東・西日本では、年平均気温が1位の高温となる見込みである。

また、春から秋にかけて高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったため、年間日照時間は北・東・西日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多く、西日本太平洋側と沖縄・奄美が多かった。一方、夏は、梅雨前線や台風第6号、第7号などの影響により、記録的な大雨となった所もあった。

なお、冬（前年12月～2月）は、全国的に寒気の影響を受けやすい時期と受けにくい時期が交互に現れた。冬の平均気温は、寒気の影響を受ける時期があった北日本で低かった一方、暖かい空気に覆われやすかった沖縄・奄美で高かった。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。根室（北海道）、東京（東京都）、福岡（福岡県）等の111地点で年平均気温の高い方からの1位の値を更新し、広島（広島県）、長崎（長崎県）等の8地点で1位タイの値を記録している。

(2) 降水量

年降水量は、北日本日本海側が多かった。一方、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。南大東島（沖縄県）では年降水量の少ない方からの1位の値を更新している。東・西日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、北・東・西日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多く、西日本太平洋側と沖縄・奄美が多かった。仙台（宮城県）、銚子（千葉県）、金沢（石川県）等の24地点で年間日照時間の多い方からの1位の値を更新し、秋田（秋田県）、東京（東京都）等の15地点で1位タイの値を記録している。

(4) 地域平均平年差（比）の1位の値の更新状況

- ・年平均気温の高い記録を更新した地域

北日本、東日本、西日本、北海道地方、東北地方、関東甲信地方、北陸地方、東海地方、近畿地方、中国地方、九州北部地方

- ・年平均気温の低い記録を更新した地域

なし

- ・年降水量の多い記録を更新した地域

なし

- ・年降水量の少ない記録を更新した地域

なし

- ・年間日照時間の多い記録を更新した地域

東日本、東日本日本海側、東日本太平洋側、東北地方、東北日本海側、東北太平洋側、関東甲信地方、北陸地方、東海地方、近畿地方*、近畿日本海側*、近畿太平洋側*

- ・年間日照時間の少ない記録を更新した地域

なし

(注)

- ・地域平均平年差（比）の1位の値の更新状況にはタイ記録も含んでいる。タイ記録は「*」で表す。

地域平均平年差（比）と階級（2023年）（12月20日までのデータによる）

	気温 平年差 °C(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 °C(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	1.8 (+)*	100 (○) 日 109 (+) 太 93 (-)	112 (+)* 日 112 (+)* 太 112 (+)*	北海道	1.8 (+)*	102 (○) 日 111 (+) オ 110 (+) 太 88 (-)	109 (+)* 日 108 (+)* オ 110 (+)* 太 109 (+)*
東日本	1.5 (+)*	95 (-) 日 103 (○) 太 93 (-)	116 (+)* 日 119 (+)* 太 115 (+)*	東北	1.9 (+)*	98 (○) 日 106 (○) 太 93 (-)	116 (+)* 日 118 (+)* 太 115 (+)*
西日本	1.0 (+)*	99 (○) 日 102 (○) 太 97 (○)	108 (+) 日 109 (+)* 太 107 (+)	関東甲信	1.6 (+)*	88 (-)	117 (+)*
沖縄・奄美	0.4 (+)	88 (-)	106 (+)	北陸	1.5 (+)*	103 (○)	119 (+)*
				東海	1.2 (+)*	100 (○)	112 (+)*
				近畿	1.0 (+)*	97 (○) 日 98 (○) 太 97 (○)	112 (+)* 日 116 (+)* 太 111 (+)*
				中国	1.2 (+)*	99 (○) 陰 104 (○) 陽 93 (-)	110 (+)* 陰 113 (+)* 陽 107 (+)
				四国	0.8 (+)*	94 (○)	106 (+)
				九州北部	1.1 (+)*	102 (○)	107 (+)
				九州南部	0.6 (+)*	102 (○)	106 (+)
				・奄美	本 0.7 (+)* 奄 0.4 (+)	本 103 (○) 奄 96 (○)	本 106 (+) 奄 108 (+)*
				沖縄	0.4 (+)	86 (-)	106 (+)

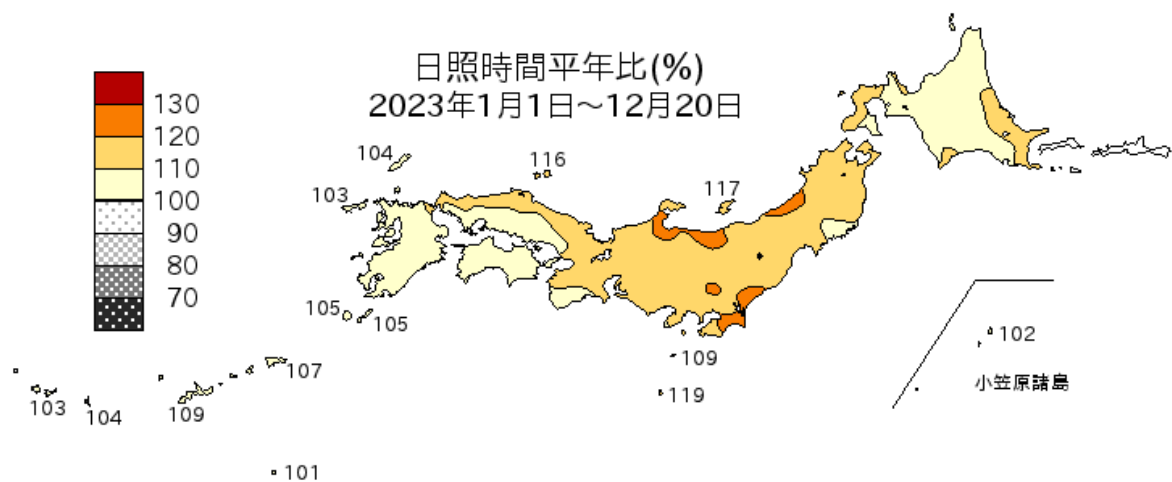
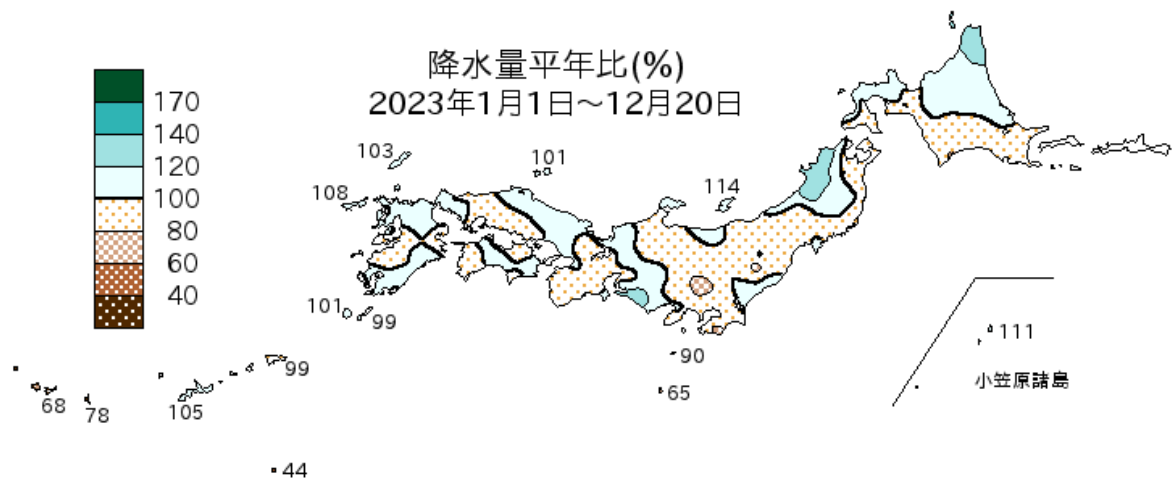
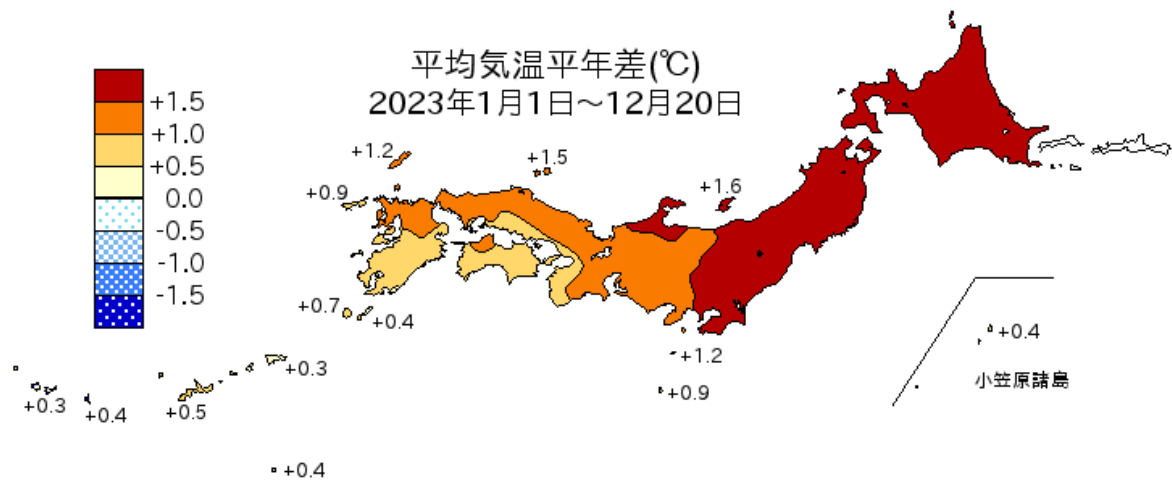
階級表示 - :低い(少ない) 0:平年並 +:高い(多い)
*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

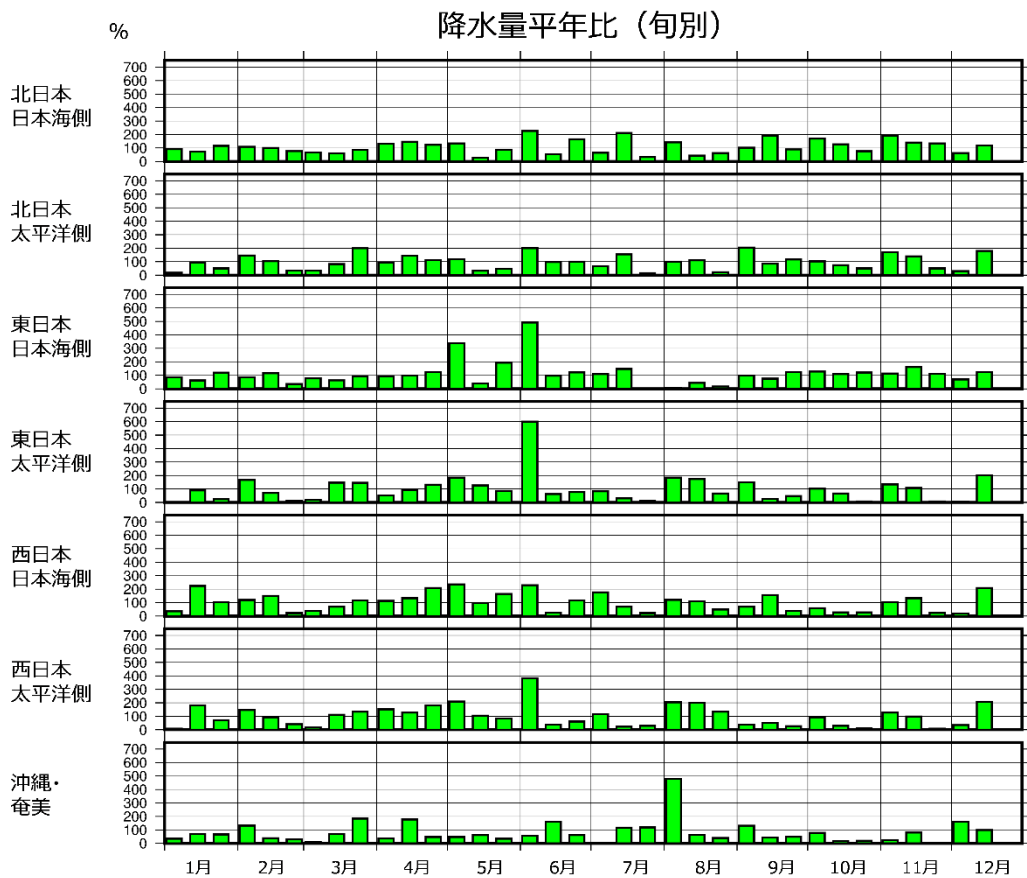
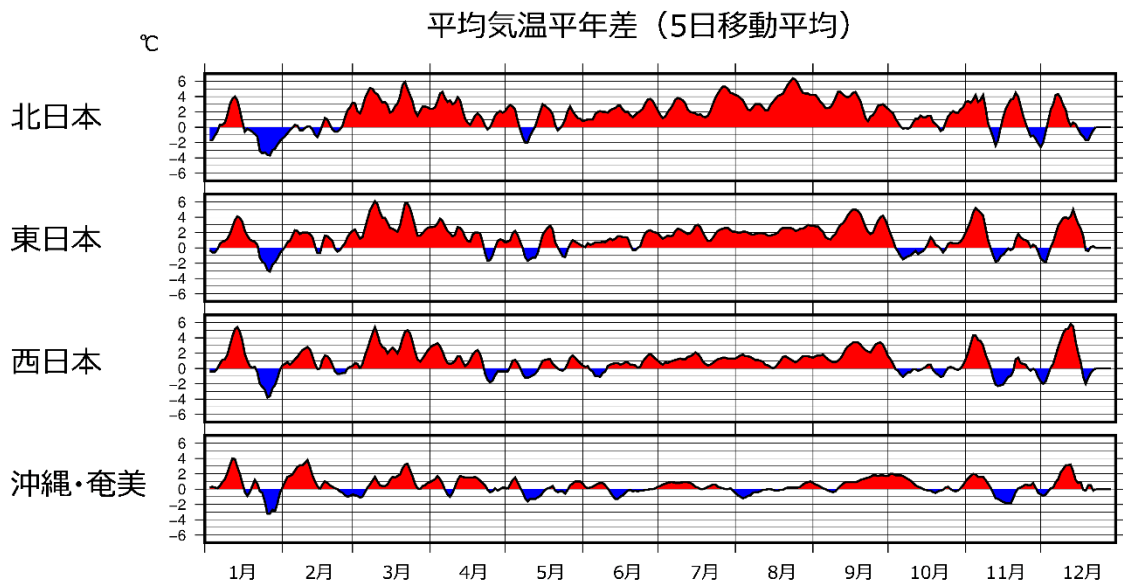
(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

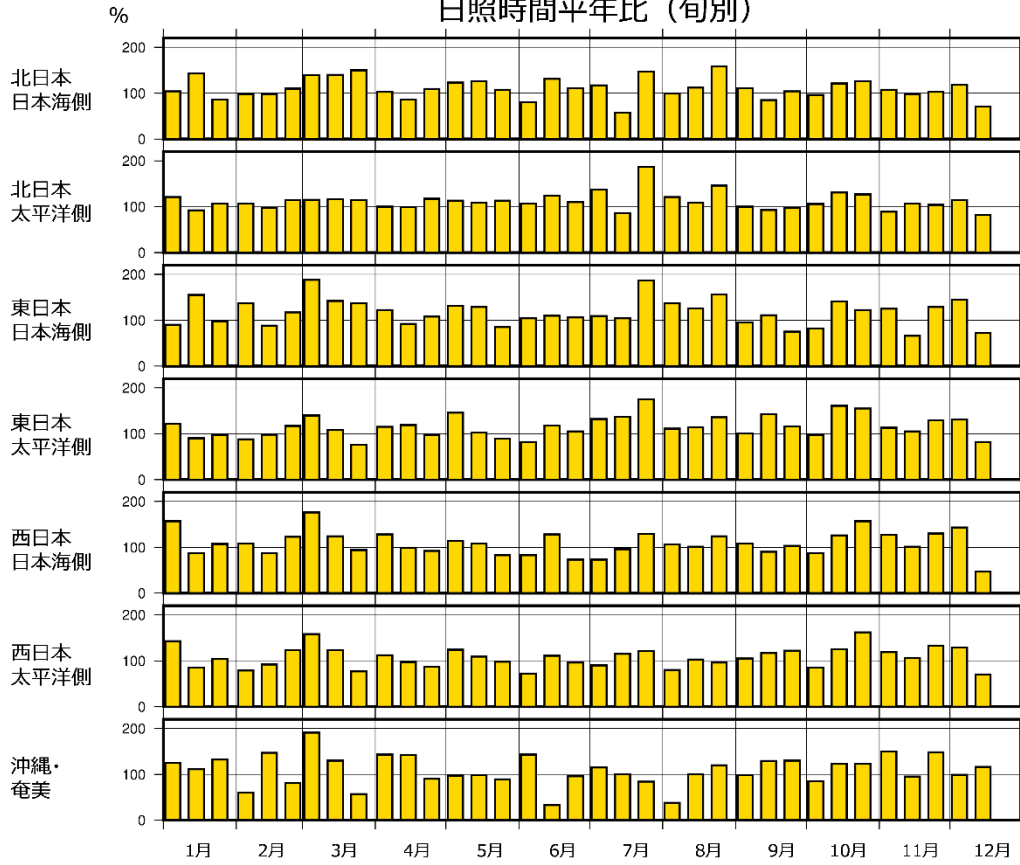
平年差（比）図（2023年）（2023年12月20日までのデータによる）



地域平均平年差（比）の経過（2023年）（12月20日までのデータによる）



日照時間平年比（旬別）



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）を更新した地点数と地域

- ・全国 153 地点（降雪の深さ、最深積雪は 105 地点）の気象台等の統計値の中で、観測史上 1 位となった地点数を記載した。
- ・値は 1 位を更新した地点数。タイ記録は含まない。タイ記録がある場合には「値々」として横に併記した。
- ・地域は観測史上 1 位（タイ記録を含む）となった地域を記載した（最深積雪を除く）。

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	高い方から	低い方から	多い方から	少ない方から	多い方から	少ない方から	多い方から	大きい方から
1月				1	4			2
2月				2				
冬							1	
3月	105、9々 北、東、西			1	25 北、北日、東日			
4月	13 北		1					
5月				1				
春	75、16々 北、東				6 東日			
6月	23、4々 北		1					
7月	20、5々 北			1	4			
8月	63、7々 北、東		4	3	2			
夏	80、5々 北、東、西		1		2			
9月	101、10々 東、西			3	1			
10月	3、2々			1、1々	9			
11月	7、1々		1	1	3			
秋	72、15々 北、東		2 北日	8 西太	49 東、東太、西、西日、西太			
12月								
年 2023年	111、8々 北、東、西			1	24、15々 東、東日、東太			

平均気温の地域表示

北：北日本
東：東日本
西：西日本
沖奄：沖縄・奄美

降水量、日照時間、降雪の深さの地域表示

北：北日本 北日：北日本日本海側 北太：北日本太平洋側
東：東日本 東日：東日本日本海側 東太：東日本太平洋側
西：西日本 西日：西日本日本海側 西太：西日本太平洋側
沖奄：沖縄・奄美

各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨の時期の降水量 平年比(注2)
沖 縄	5月18日ごろ(+)	5月10日ごろ	6月25日ごろ(+)	6月21日ごろ	63%(-)
奄 美	5月18日ごろ(+)	5月12日ごろ	6月25日ごろ(0)	6月29日ごろ	134%(+)
九州南部	5月30日ごろ(0)	5月30日ごろ	7月25日ごろ(+)*	7月15日ごろ	102%(0)
九州北部	5月29日ごろ(-)	6月4日ごろ	7月25日ごろ(+)	7月19日ごろ	105%(0)
四 国	5月29日ごろ(-)	6月5日ごろ	7月16日ごろ(0)	7月17日ごろ	94%(0)
中 国	5月29日ごろ(-)	6月6日ごろ	7月16日ごろ(-)	7月19日ごろ	105%(0)
近 畿	5月29日ごろ(-)	6月6日ごろ	7月16日ごろ(-)	7月19日ごろ	97%(0)
東 海	5月29日ごろ(-)*	6月6日ごろ	7月16日ごろ(-)	7月19日ごろ	119%(+)
関東甲信	6月8日ごろ(0)	6月7日ごろ	7月22日ごろ(0)	7月19日ごろ	110%(0)
北 陸	6月9日ごろ(0)	6月11日ごろ	7月21日ごろ(0)	7月23日ごろ	124%(+)
東北南部	6月9日ごろ(0)	6月12日ごろ	7月22日ごろ(-)	7月24日ごろ	110%(+)
東北北部	6月9日ごろ(-)	6月15日ごろ	7月22日ごろ(-)	7月28日ごろ	111%(+)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月、沖縄と奄美は5~6月)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)*: かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%	33%	33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

3 季節別の天候経過

冬（2022年12月～2023年2月）：

- 冬の平均気温は北日本で低かった一方、沖縄・奄美で高かった
- 東日本日本海側の冬の降水量は多かった一方、北・東・西日本太平洋側と西日本日本海側の冬の降水量は少なかった
- 西日本日本海側と西日本太平洋側の冬の日照時間は多かった

全国的に寒気の影響を受けやすい時期と受けにくい時期が交互に現れた。12月や1月下旬などは冬型の気圧配置が強まって寒気の影響を受けたため、冬の平均気温は北日本で低くなった。一方、沖縄・奄美では1月中旬や2月前半などは暖かい空気に覆われやすかったため、冬の平均気温は高くなった。冬型の気圧配置が強まる時期があったため、雪または雨の日となりやすかった東日本日本海側の冬の降水量は多かった。特に冬型の気圧配置が強まった12月後半には北・東・西日本日本海側を中心に太平洋側の一部でも交通機関等に影響が出るような大雪となった所があり、1月下旬には西日本日本海側と西日本太平洋側の旬降雪量がかなり多くなった。このため、冬の降雪量は西日本太平洋側でかなり多かったが、冬型の気圧配置となりにくかった時期もあったため北・東・西日本日本海側では平年並だった。北・東・西日本太平洋側と西日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、冬の降水量は少なかった。西日本日本海側と西日本太平洋側では、12月上旬や1月上旬などに高気圧に覆われやすい時期があり、平年に比べ晴れた日が多くなったため、冬の日照時間は多かった。沖縄・奄美では、12月は前線や低気圧、寒気の影響を受けやすく、2月上旬は前線の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多かったが、1月や2月中旬は高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れた日が多かった。

平均気温：沖縄・奄美で高かった。一方、北日本で低かった。東・西日本では平年並だった。

降水量：東日本日本海側で多かった。一方、北・東・西日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった。北日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

日照時間：西日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。北・東日本日本海側、北・東日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

春（3月～5月）：

- 春の平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本でかなり高かった
- 春の降水量は西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側と西日本太平洋側で多かった一方、沖縄・奄美で少なかった
- 春の日照時間は全国的に多く、特に北・東日本日本海側でかなり多かった

暖かい空気に覆われやすく、特に3月を中心に大陸からの寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込みやすかった。このため、春の平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本でかなり高かった。春の平均気温平年差は北日本で+2.2℃、東日本で+1.8℃となり、1946年の統計開始以降、春として1位の高温となった。また、高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったため、春の日照時間は全国的に多く、北・東日本日本海側ではかなり多かった。春の日照時間平年比は東日本日本海側で121%となり、1946年の統計開始以降、春として1位タイの多照となった。また、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、春の降水量は沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本日本海側と西日本では低気圧や前線の影響でまとまった雨が降った日があったため、春の降水量は西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側と西日本太平洋側で

多かった。

平均気温：北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

降水量：西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。一方、
沖縄・奄美で少なかった。北日本日本海側と北・東日本太平洋側では平年並だった。

日照時間：北・東日本日本海側でかなり多く、西日本日本海側、北・東・西日本太平洋側、
沖縄・奄美で多かった。

夏（6月～8月）：

- 夏の平均気温は北・東・西日本でかなり高かった
- 夏の降水量は東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった一方、北日本太平洋側で少なかった
- 夏の日照時間は北・東日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多かった一方、沖縄・奄美で少なかった

北日本を中心に暖かい空気に覆われやすく、また南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、夏の平均気温は北・東・西日本でかなり高かった。夏の平均気温平年差は北日本で+3.0℃、東日本で+1.7℃、西日本で+0.9℃となり、1946年の統計開始以降、北日本と東日本で1位、西日本で1位タイの高温となった。北日本の記録的な高温には、周辺海域での海水温の顕著な高温も影響した。北・東日本では高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため、夏の日照時間は北・東日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多かった。また、夏の降水量は北日本太平洋側で少なかった。一方、梅雨前線や台風第6号、第7号などの影響を受けたため、夏の降水量は東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で多く、夏の日照時間は沖縄・奄美で少なかった。

平均気温：北・東・西日本でかなり高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

降水量：東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。一方、北日本太平洋側で少なかった。
北・東・西日本日本海側では平年並だった。

日照時間：北・東日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。西日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

秋（9月～11月）：

- 秋の平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本でかなり高かった
- 秋の降水量は、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なかった一方、北日本日本海側でかなり多かった
- 秋の日照時間は全国的に多く、特に東・西日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美でかなり多かった

秋の日照時間は、全国的に高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったため、東・西日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美でかなり多く、北・東日本日本海側と北日本太平洋側で多かった。秋の日照時間平年比は、東日本太平洋側で125%、西日本日本海側で115%、西日本太平洋側で120%となり、1946年の統計開始以降、それぞれ秋として1位の多照となった。

秋の降水量は、低気圧や台風の影響を受けにくかったため、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。秋の降水量平年比は西日本太平洋側で48%となり、1946年の統計開始以降、秋として1位の少雨となった。一方、北日本を中心に低気圧の影響を受けやすく、寒気の影響を受けた時期もあったため、秋の降水量は北日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多かった。秋の降水量平年比は北日本日本海側で134%となり、

1946年の統計開始以降、秋として1位の多雨となった。

日本近海の海面水温が顕著に高かったことや、日本海から日本の北を通る低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込みやすい時期があったため、全国的に暖かい空気に覆われやすかった。このため、秋の平均気温は北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。秋の平均気温平年差は、北日本で+1.9℃、東日本で+1.4℃となり、1946年の統計開始以降、それぞれ秋として1位の高温となった。

平均気温：北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

降水量：北日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側が多かった。一方、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

日照時間：東・西日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美でかなり多く、北・東日本日本海側と北日本太平洋側が多かった。

4 全国気候表 2023 年

全国気候表 (12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	11.5	(+1.9)	941.0	(85)	123	1842.8	(109)
稚内	9.0	(+1.6)	1479.5	(138)	159	1499.9	(104)
北見枝幸	8.4	(+1.7)	1411.5	(125)	150	1618.2	(110)
旭川	9.3	(+1.6)	1222.0	(114)	166	1599.8	(104)
留萌	9.9	(+1.5)	1269.0	(114)	158	1639.2	(109)
羽幌	10.0	(+1.7)	1503.5	(117)	165	1612.5	(105)
岩見沢	10.1	(+1.7)	1290.5	(107)	150	1783.6	(108)
倶知安	9.2	(+1.6)	1629.5	(112)	163	1522.4	(106)
小樽	10.9	(+1.7)	1283.5	(105)	153	1756.0	(112)
寿都	11.0	(+1.8)	1337.0	(111)	159	1557.8	(112)
網走	9.1	(+1.8)	826.5	(100)	123	2012.8	(111)
紋別	9.0	(+2.0)	903.0	(108)	114	1828.2	(111)
雄武	8.3	(+1.9)	958.5	(107)	109	1740.9	(108)
釧路	9.0	(+2.0)	1060.5	(100)	89	2067.3	(109)
根室	9.1	(+2.2)	820.0	(80)	92	1997.9	(111)
帯広	9.7	(+2.1)	800.0	(89)	86	2094.8	(107)
広尾	9.8	(+2.2)	1329.0	(79)	117	1958.5	(111)
室蘭	11.0	(+1.8)	963.5	(83)	107	1854.6	(109)
苫小牧	9.9	(+1.6)	1115.5	(91)	96	1745.5	(105)
浦河	10.3	(+1.7)	1048.0	(95)	101	1955.2	(109)
函館	11.7	(+1.9)	983.5	(85)	128	1845.2	(108)
江差	12.4	(+1.7)	1215.5	(102)	143	1587.8	(112)
青森	13.0	(+1.9)	1274.5	(98)	162	1806.2	(115)
深浦	12.9	(+1.6)	1906.5	(129)	155	1636.5	(115)
むつ	12.1	(+1.9)	1184.0	(90)	132	1808.3	(116)
八戸	12.9	(+2.0)	989.5	(96)	106	2037.8	(113)
秋田	14.2	(+1.8)	2156.5	(128)	161	1821.5	(120)
盛岡	13.0	(+2.0)	1438.0	(114)	122	1884.2	(114)
大船渡	14.1	(+2.1)	1392.5	(91)	97	1810.0	(107)
宮古	13.1	(+1.9)	1183.5	(88)	90	2005.2	(110)
仙台	15.4	(+2.2)	1044.0	(83)	88	2120.0	(119)
石巻	14.3	(+2.0)	1102.5	(102)	80	2225.3	(117)
山形	14.2	(+1.7)	1167.5	(100)	124	1861.0	(117)
新庄	13.0	(+1.6)	1826.5	(95)	173	1558.7	(118)
酒田	15.0	(+1.7)	1979.0	(104)	178	1866.0	(122)
福島	15.6	(+1.8)	986.0	(83)	89	2001.1	(117)
若松	14.1	(+1.7)	1035.0	(85)	120	1910.6	(119)
白河	13.9	(+1.6)	1142.5	(79)	97	2073.7	(119)
小名浜	16.2	(+2.1)	1527.5	(107)	98	2405.6	(120)
水戸	16.5	(+2.0)	1505.0	(111)	88	2376.4	(123)
館野(つくば)	16.5	(+1.8)	1273.0	(97)	84	2311.7	(119)
宇都宮	16.4	(+1.7)	1533.0	(101)	100	2210.7	(117)
日光	9.1	(+1.5)	1906.0	(87)	117	1944.8	(114)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	17.3	(+1.9)	1060.0	(86)	84	2406.6	(116)
熊谷	17.6	(+1.8)	1028.5	(80)	72	2453.0	(121)
秩父	15.6	(+1.7)	1009.0	(74)	76	2268.9	(120)
東京	18.0	(+1.8)	1395.0	(88)	89	2181.2	(117)
大島	18.2	(+1.5)	2035.0	(72)	111	2013.2	(113)
三宅島	19.4	(+1.2)	2660.0	(90)	137	1821.6	(109)
八丈島	19.1	(+0.9)	2121.0	(65)	155	1679.6	(119)
父島	23.9	(+0.4)	1397.0	(111)	102	2023.5	(102)
千葉	18.4	(+1.8)	1266.5	(88)	82	2271.1	(121)
銚子	18.0	(+1.9)	1549.5	(92)	87	2412.7	(123)
館山	18.1	(+1.5)	1602.0	(88)	95	2270.3	(118)
勝浦	17.9	(+1.6)	1492.5	(76)	91	2271.6	(120)
横浜	18.3	(+1.7)	1374.5	(80)	86	2328.4	(119)
長野	14.1	(+1.4)	822.5	(87)	92	2190.0	(114)
松本	14.1	(+1.5)	925.0	(89)	78	2405.4	(116)
諏訪	13.1	(+1.3)	1265.5	(98)	96	2337.3	(111)
軽井沢	10.4	(+1.4)	1074.5	(87)	91	2313.8	(118)
飯田	14.5	(+1.0)	1831.5	(110)	103	2294.9	(114)
甲府	16.8	(+1.3)	945.5	(82)	74	2398.9	(112)
河口湖	12.8	(+1.4)	1276.0	(81)	87	2196.2	(113)
静岡	18.6	(+1.4)	2370.5	(103)	92	2368.7	(114)
浜松	18.2	(+1.0)	2349.5	(129)	109	2423.0	(112)
御前崎	18.3	(+1.3)	2375.5	(115)	97	2433.4	(111)
三島	18.0	(+1.3)	2034.5	(110)	99	2179.1	(113)
石廊崎	18.4	(+1.3)	1713.0	(97)	108	2277.4	(109)
網代	18.0	(+1.4)	1697.0	(85)	92	2060.3	(116)
名古屋	17.9	(+1.3)	1494.0	(96)	98	2295.2	(110)
伊良湖	17.8	(+1.1)	1998.0	(124)	99	2383.0	(110)
岐阜	17.8	(+1.2)	1979.0	(108)	109	2266.0	(110)
高山	13.0	(+1.2)	1462.0	(84)	120	1892.7	(118)
津	17.8	(+1.1)	1331.5	(83)	101	2292.9	(112)
上野	16.2	(+1.2)	1240.0	(87)	102	1948.9	(111)
尾鷲	17.8	(+1.1)	3606.5	(92)	108	2080.6	(109)
四日市	16.7	(+1.2)	1650.0	(92)	97	2169.2	(112)
新潟	15.8	(+1.5)	1727.5	(97)	145	1926.2	(119)
相川	16.0	(+1.6)	1737.5	(114)	148	1882.4	(117)
高田	15.7	(+1.5)	2862.0	(107)	164	1922.4	(123)
富山	16.5	(+1.7)	2224.5	(98)	152	1957.0	(121)
伏木	16.1	(+1.5)	2038.0	(93)	151	1991.9	(122)
金沢	17.0	(+1.6)	2147.0	(93)	150	2007.9	(119)
輪島	15.7	(+1.6)	2280.0	(110)	154	1849.0	(118)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	16.7	(+1.5)	2300.5	(105)	154	1927.2	(118)
	敦賀	17.4	(+1.4)	2283.0	(110)	150	1864.2
彦根	16.7	(+1.3)	1434.0	(92)	126	2037.2	(112)
京都	17.8	(+1.2)	1339.0	(89)	103	2012.2	(115)
	舞鶴	16.4	(+1.2)	1887.0	(100)	142	1778.7
大阪	18.4	(+0.9)	1343.0	(102)	95	2245.1	(113)
神戸	18.4	(+1.0)	1279.0	(101)	93	2245.4	(111)
	豊岡	16.3	(+1.3)	2018.0	(101)	152	1761.8
姫路	16.9	(+1.0)	1380.0	(111)	94	2148.2	(108)
洲本	17.3	(+0.8)	1433.0	(93)	99	2136.9	(109)
奈良	17.1	(+1.0)	1351.5	(101)	106	2021.5	(113)
和歌山	18.2	(+0.9)	1264.0	(91)	92	2262.7	(111)
	潮岬	18.5	(+0.8)	2361.0	(90)	113	2324.6
岡山	17.2	(+1.0)	1030.0	(91)	84	2134.7	(108)
	津山	15.4	(+1.0)	1434.5	(103)	101	1885.8
広島	18.0	(+1.1)	1457.5	(94)	92	2115.7	(107)
	呉	17.8	(+0.9)	1308.0	(93)	84	2167.7
福山	16.9	(+0.8)	981.5	(85)	93	2134.9	(106)
松江	16.9	(+1.4)	1926.0	(111)	129	1865.7	(111)
	西郷	16.3	(+1.5)	1773.0	(101)	137	1970.0
浜田	17.3	(+1.2)	1617.5	(100)	120	1938.8	(112)
鳥取	17.0	(+1.4)	2036.0	(110)	144	1893.6	(115)
	米子	17.1	(+1.4)	1729.5	(101)	132	1881.0
境	17.2	(+1.4)	1893.5	(103)	134	1873.3	(111)
徳島	18.0	(+0.8)	1756.5	(110)	91	2232.4	(109)
高松	18.0	(+0.9)	1070.0	(94)	93	2143.3	(107)
	度津	17.7	(+0.8)	945.0	(86)	88	2191.5
松山	18.2	(+1.1)	1392.0	(101)	101	2084.1	(106)
	宇和島	18.3	(+0.9)	1543.5	(90)	106	2001.6
高知	18.3	(+0.7)	2774.5	(105)	115	2160.6	(103)
	宿毛	18.3	(+0.8)	1805.5	(87)	112	2127.6
清水	19.2	(+0.5)	2101.0	(83)	108	2232.4	(105)
室戸岬	17.7	(+0.5)	2227.0	(92)	122	2213.8	(105)
山口	17.0	(+1.0)	2058.5	(108)	102	1971.8	(108)
	下関	18.3	(+1.0)	1856.0	(110)	111	2035.4
萩	17.3	(+1.2)	1629.0	(98)	115	1930.5	(113)
福岡	18.9	(+1.3)	1756.0	(106)	110	1998.0	(108)
	飯塚	17.5	(+1.2)	1946.0	(109)	108	1959.2

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	18.0	(+0.9)	1565.0	(91)	96	2048.1	(106)
	17.2	(+1.1)	2072.0	(112)	108	1885.5	(107)
長崎	18.7	(+1.0)	2123.0	(114)	102	1907.7	(105)
	17.5	(+1.2)	2379.0	(103)	103	1872.9	(104)
平戸	17.7	(+1.1)	2648.5	(122)	110	1912.4	(109)
	18.7	(+1.1)	1844.5	(94)	106	1995.1	(106)
雲仙	14.2	(+0.9)	2567.0	(87)	114	1501.4	(107)
	18.2	(+0.9)	2492.5	(108)	129	1770.2	(103)
佐賀	18.5	(+1.3)	2108.5	(109)	103	2043.1	(106)
熊本	18.5	(+0.9)	1797.5	(90)	104	2047.7	(105)
	16.9	(+0.8)	2123.0	(85)	114	1782.9	(101)
牛深	19.5	(+1.0)	1716.5	(83)	108	2063.4	(108)
	18.8	(+0.7)	2994.5	(115)	117	2130.8	(104)
延岡	17.9	(+0.7)	2781.5	(115)	112	2111.4	(102)
	17.9	(+0.8)	2692.5	(102)	120	1952.9	(104)
油津	19.1	(+0.4)	2705.5	(99)	120	2016.7	(107)
	19.9	(+0.8)	2488.0	(103)	109	2047.3	(108)
阿久根	18.7	(+0.9)	2135.0	(97)	116	2099.9	(110)
	19.4	(+0.8)	2269.5	(99)	114	2033.1	(109)
屋久島	20.6	(+0.7)	4618.5	(101)	163	1557.6	(105)
	20.5	(+0.4)	2473.0	(99)	132	1863.0	(105)
名瀬	22.3	(+0.3)	2853.5	(99)	163	1400.3	(107)
	23.3	(+0.5)	1701.0	(93)	99	1980.7	(109)
那覇	24.0	(+0.5)	2237.0	(105)	117	1841.5	(109)
	23.6	(+0.6)	2171.0	(104)	115	1845.9	(109)
久米島	24.0	(+0.6)	1975.5	(90)	103	1863.9	(110)
	24.4	(+0.4)	1584.5	(78)	113	1775.2	(104)
石垣島	25.0	(+0.3)	1389.0	(68)	121	1865.2	(103)
	24.5	(+0.4)	1512.0	(69)	129	1709.6	(101)
与那国島	24.4	(+0.2)	2038.5	(90)	140	1615.3	(104)
	24.1	(+0.4)	708.0	(44)	88	2111.6	(101)

日数の値の横の) は、日数を求めるための日別データに欠測等が含まれていることを示す。

5 順位更新表 2023 年

平年差（比）が観測史上1位を上回っている地点（12月20日までのデータによる）
 ※タイ記録も含んでいる。タイ記録は「＝」で表す。

年平均気温の平年差が最高値を上回っている地点

地点名	2023年(12月20日まで)			これまでの最高 平年差(西暦年) ℃	開始年
	平年差 ℃	値 ℃	平年値* ℃		
札幌	+1.9	11.5	9.6	+1.0 (2022)	1877
稚内	+1.6	9.0	7.4	+1.2 (1990)	1938
北見枝幸	+1.7	8.4	6.7	+1.2 (1990)	1942
旭川	+1.6	9.3	7.7	+1.1 (2021)	1888
留萌	+1.5	9.9	8.4	+0.9 (2022)	1943
羽幌	+1.7	10.0	8.3	+0.9 (2022)	1921
岩見沢	+1.7	10.1	8.4	+1.1 (1990)	1946
倶知安	+1.6	9.2	7.6	+0.8 (2022)	1944
小樽	+1.7	10.9	9.2	+1.0 (1990)	1943
寿都	+1.8	11.0	9.2	+1.0 (1990)	1884
網走	+1.8	9.1	7.3	+1.0 (2022)	1889
紋別	+2.0	9.0	7.0	+1.0 (2022)	1956
雄武	+1.9	8.3	6.4	+1.1 (1990)	1942
釧路	+2.0	9.0	7.0	+1.2 (2022)	1910
根室	+2.2	9.1	6.9	+1.2 (2022)	1879
帯広	+2.1	9.7	7.6	+1.1 (2022)	1892
広尾	+2.2	9.8	7.6	+1.2 (2022)	1958
室蘭	+1.8	11.0	9.2	+1.1 (1990)	1923
苫小牧	+1.6	9.9	8.3	+1.1 (1990)	1942
浦河	+1.7	10.3	8.6	+1.0 (1990)	1927
函館	+1.9	11.7	9.8	+1.1 (1990)	1872
江差	+1.7	12.4	10.7	+0.9 (1990)	1941
青森	+1.9	13.0	11.1	+1.0 (1990)	1882
深浦	+1.6	12.9	11.3	+0.9 (1990)	1940
むつ	+1.9	12.1	10.2	+1.2 (1990)	1935
八戸	+2.0	12.9	10.9	+0.9 (2004)	1936
秋田	+1.8	14.2	12.4	+0.8 (2021)	1882
盛岡	+2.0	13.0	11.0	+1.0 (2015)	1923
大船渡	+2.1	14.1	12.0	+0.8 (2021)	1963
宮古	+1.9	13.1	11.2	+1.0 (1990)	1883
仙台	+2.2	15.4	13.2	+0.9 (2021)	1926
石巻	+2.0	14.3	12.3	+0.8 (2021)	1887
山形	+1.7	14.2	12.5	+0.9 (2020)	1889
新庄	+1.6	13.0	11.4	+1.1 (2020)	1957
酒田	+1.7	15.0	13.3	+0.8 (2020)	1937
福島	+1.8	15.6	13.8	+0.8 (2018)	1889
若松	+1.7	14.1	12.4	+1.0 (2020)	1953
白河	+1.6	13.9	12.3	+0.8 (2020)	1940
小名浜	+2.1	16.2	14.1	+1.0 (2021)	1910
水戸	+2.0	16.5	14.5	+1.2 (2018)	1897

館野(つくば)	+1.8	16.5	14.7	+1.0	(2018)	1921
宇都宮	+1.7	16.4	14.7	+0.9	(2018)	1890
日光	+1.5	9.1	7.6	+0.9	(2020)	1944
前橋	+1.9	17.3	15.4	+1.1	(2018)	1896
熊谷	+1.8	17.6	15.8	+1.0	(2018)	1896
秩父	+1.7	15.6	13.9	+1.0	(2018)	1926
東京	+1.8	18.0	16.2	+1.5	(2004)	1875
大島	+1.5	18.2	16.7	+1.0	(2020)	1938
三宅島	+1.2	19.4	18.2	+0.9	(2020)	1942
千葉	+1.8	18.4	16.6	+1.0	(2018)	1966
銚子	+1.9	18.0	16.1	+1.1	(2021)	1887
館山	+1.5	18.1	16.6	+1.0	(2018)	1968
勝浦	+1.6	17.9	16.3	+0.9	(2021)	1906
横浜	+1.7	18.3	16.6	+0.9	(2018)	1896
長野	+1.4	14.1	12.7	+0.8	(2020)	1889
松本	+1.5	14.1	12.6	+1.0	(2018)	1898
諏訪	+1.3	13.1	11.8	+0.9	(2018)	1945
軽井沢	+1.4	10.4	9.0	+0.7	(2018)	1925
飯田	+1.0	14.5	13.5	+0.7	(2018)	1897
甲府	+1.3	16.8	15.5	+0.9	(2018)	1894
河口湖	+1.4	12.8	11.4	+0.8	(2018)	1933
静岡	+1.4	18.6	17.2	+0.9	(2020)	1940
浜松	+1.0	18.2	17.2	+0.7	(2020)	1882
御前崎	+1.3	18.3	17.0	+1.0	(2019)	1932
三島	+1.3	18.0	16.7	+1.0	(2020)	1930
石廊崎	+1.3	18.4	17.1	+0.8	(2020)	1939
網代	+1.4	18.0	16.6	+0.8	(2020)	1937
名古屋	+1.3	17.9	16.6	+0.8	(2020)	1890
伊良湖	+1.1	17.8	16.7	+0.8	(2020)	1947
岐阜	+1.2	17.8	16.6	+0.8	(2020)	1883
高山	+1.2	13.0	11.8	+0.9	(2020)	1899
津	+1.1	17.8	16.7	+0.9	(1998)	1889
上野	+1.2	16.2	15.0	+0.9	(2016)	1937
尾鷲	+1.1	17.8	16.7	+0.9	(2020)	1938
四日市	+1.2=	16.7	15.5	+1.2	(1998)	1966
新湊	+1.5	15.8	14.3	+1.0	(1990)	1881
相川	+1.6	16.0	14.4	+0.9	(2020)	1911
高田	+1.5	15.7	14.2	+0.8	(2020)	1922
富山	+1.7	16.5	14.8	+0.9	(2020)	1939
伏木	+1.5	16.1	14.6	+0.9	(2020)	1883
金沢	+1.6	17.0	15.4	+0.9	(2020)	1882
輪島	+1.6	15.7	14.1	+0.8	(2020)	1929
福井	+1.5	16.7	15.2	+0.8	(2020)	1897
敦賀	+1.4	17.4	16.0	+0.8	(2016)	1897
彦根	+1.3	16.7	15.4	+0.8	(2020)	1893
京都	+1.2	17.8	16.6	+0.9	(2016)	1880
舞鶴	+1.2	16.4	15.2	+0.8	(2004)	1947
大坂	+0.9	18.4	17.5	+0.8	(2004)	1883
神戸	+1.0	18.4	17.4	+0.8	(2016)	1896
豊岡	+1.3	16.3	15.0	+0.8	(2020)	1918
姫路	+1.0	16.9	15.9	+0.7	(2016)	1948

洲本	+0.8	17.3	16.5	+0.6	(2020)	1919
奈良	+1.0	17.1	16.1	+0.6	(2021)	1953
津山	+1.0	15.4	14.4	+0.9	(1998)	1943
広島	+1.1=	18.0	16.9	+1.1	(1998)	1879
呉	+0.9=	17.8	16.9	+0.9	(1998)	1894
松江	+1.4	16.9	15.5	+0.8	(1998)	1940
西郷	+1.5	16.3	14.8	+0.8	(1998)	1939
浜田	+1.2	17.3	16.1	+0.8	(1998)	1893
鳥取	+1.4	17.0	15.6	+0.8	(2019)	1943
米子	+1.4	17.1	15.7	+0.7	(2020)	1939
境	+1.4	17.2	15.8	+0.7	(2021)	1883
高松	+0.9	18.0	17.1	+0.8	(2016)	1941
山	+1.1	18.2	17.1	+0.8	(2016)	1890
下関	+1.0	18.3	17.3	+0.7	(2021)	1883
萩	+1.2	17.3	16.1	+0.9	(1998)	1948
福岡	+1.3	18.9	17.6	+0.9	(2021)	1890
飯塚	+1.2	17.5	16.3	+0.8	(1998)	1935
大分	+0.9	18.0	17.1	+0.8	(2016)	1887
日田	+1.1	17.2	16.1	+1.0	(2016)	1942
長崎	+1.0=	18.7	17.7	+1.0	(1998)	1878
厳原	+1.2	17.5	16.3	+0.9	(2021)	1886
平戸	+1.1	17.7	16.6	+0.8	(2021)	1940
佐世保	+1.1	18.7	17.6	+0.9	(2021)	1946
雲仙	+0.9=	14.2	13.3	+0.9	(1998)	1924
福江	+0.9=	18.2	17.3	+0.9	(1998)	1962
佐賀	+1.3	18.5	17.2	+1.0	(2021)	1890
牛深	+1.0=	19.5	18.5	+1.0	(1998)	1949
阿久根	+0.9=	18.7	17.8	+0.9	(1998)	1939

年平均気温の平年差が最低値を下回っている地点
なし

年降水量の平年比が最大値を上回っている地点
なし

年降水量の平年比が最小値を下回っている地点

地点名	2023年(12月20日まで)			これまでの最小 平年比(西暦年) %	開始年
	平年比 %	値 mm	平年値* mm		
南大東島	44	708.0	1596.7	64 (2002)	1942

年間日照時間の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2023年(12月20日まで)			これまでの最大		開始年
	平年比 %	値 h	平年値* h	平年比(西暦年) %		
秋田	120=	1821.5	1511.9	120	(2019)	1899
仙台	119	2120.0	1787.9	114	(2015)	1927
山形	117=	1861.0	1592.2	117	(1984)	1895
新庄	118	1558.7	1315.9	117	(2019)	1957
酒田	122	1866.0	1523.5	121	(1943)	1937
若松	119	1910.6	1608.2	116	(1994)	1953
白河	119=	2073.7	1745.4	119	(1940)	1940
小名浜	120	2405.6	2002.2	114	(1939)	1910
水戸	123	2376.4	1933.4	113	(2021)	1899
館野(つくば)	119=	2311.7	1942.8	119	(1940)	1921
宇都宮	117=	2210.7	1885.2	117	(1973)	1897
前橋	116=	2406.6	2077.5	116	(1922)	1899
熊谷	121	2453.0	2029.6	112	(2014)	1899
秩父	120	2268.9	1889.5	111	(2013)	1926
東京	117=	2181.2	1858.5	117	(1940)	1891
千葉	121	2271.1	1879.9	112	(2004)	1966
銚子	123	2412.7	1954.8	113	(2021)	1899
館山	118	2270.3	1931.0	110	(2021)	1968
勝浦	120	2271.6	1888.0	118	(1961)	1912
横浜	119	2328.4	1951.9	112	(1940)	1905
松本	116=	2405.4	2077.0	116	(1940)	1899
諏訪	111=	2337.3	2103.4	111	(2018)	1945
軽井沢	118	2313.8	1958.6	113	(1940)	1925
飯田	114	2294.9	2014.2	113	(1947)	1898
甲府	112	2398.9	2149.9	111	(2013)	1900
静岡	114	2368.7	2075.3	112	(1947)	1940
御前崎	111=	2433.4	2200.2	111	(1940)	1932
石廊崎	109=	2277.4	2089.3	109	(1942)	1939
網代	116	2060.3	1772.8	110	(1995)	1937
高山	118	1892.7	1609.4	113	(1943)	1902
新潟	119=	1926.2	1622.3	119	(1940)	1892
富山	121	1957.0	1615.0	114	(1939)	1939
伏木	122	1991.9	1632.9	116	(1951)	1893
金沢	119	2007.9	1691.1	112	(1940)	1891
彦根	112=	2037.2	1826.8	112	(1978)	1894
舞鶴	117	1778.7	1525.9	115	(2013)	1947
大阪	113=	2245.1	1994.7	113	(2022)	1890
神戸	111=	2245.4	2031.6	111	(2022)	1897
沖永良部	109	1980.7	1823.0	108	(2018)	1969

年間日照時間の平年比が最小値を下回っている地点
なし

平年値* は日別平年値を平均・合計したものである。

(注) これらは 12 月 20 日までの観測値を使った集計結果であるので、年末までのデータを加えた確定値では変わる可能性がある。

平年値 (*) は日別平年値を平均または合計したものである。

平年値とは 1991～2020 年の 30 年間の値を平均したものである。

○本資料では、特に記載のない限り全国の 153 の気象台等での観測値を用いています。ただし、地域平均については、それらから三宅島、八丈島、父島及び南大東島を除いた 149 地点での観測値を用いています。関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 知識・解説 > 気象の観測 > 地上気象観測 > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月 15 日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfest/>

